



## 「令和3年度 兵庫県内の市町財政の状況」

### (1) 経常収支比率の状況

- 【資料1】 令和3年度兵庫県内各市町の経常収支比率（単年度）の状況〈地図〉 1
- 【資料2】 経常収支比率（単年度）の対前年度比較 2

### (2) 実質公債費比率の状況

- 【資料3】 令和3年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況〈地図〉 3
- 【資料4】 実質公債費比率の対前年度比較 4

### (3) 将来負担比率の状況

- 【資料5】 令和3年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況〈地図〉 5
- 【資料6】 将来負担比率の対前年度比較 6

### (4) 税徴収率の状況

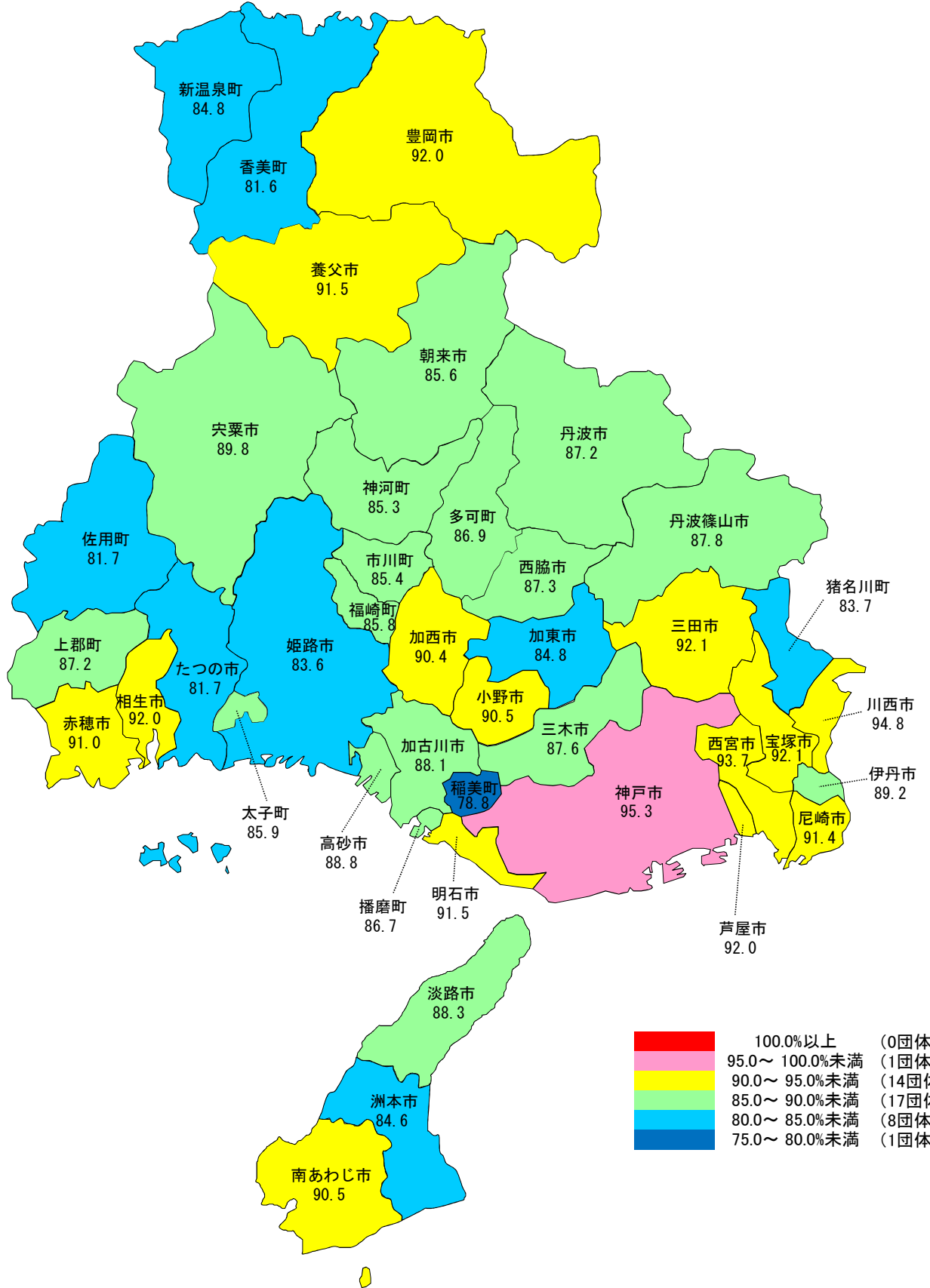
- 【資料7】 令和3年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況〈地図〉 7
- 【資料8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 8
- 【資料9】 令和3年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況〈地図〉 9
- 【資料10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 10
- 【資料11】 令和3年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況〈地図〉 11
- 【資料12】 特別徴収実施率の対前年度比較 12

### ※ 参考

- 【参考資料①】 令和3年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況〈地図〉 13
- 【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較（令和2年-令和3年） 14

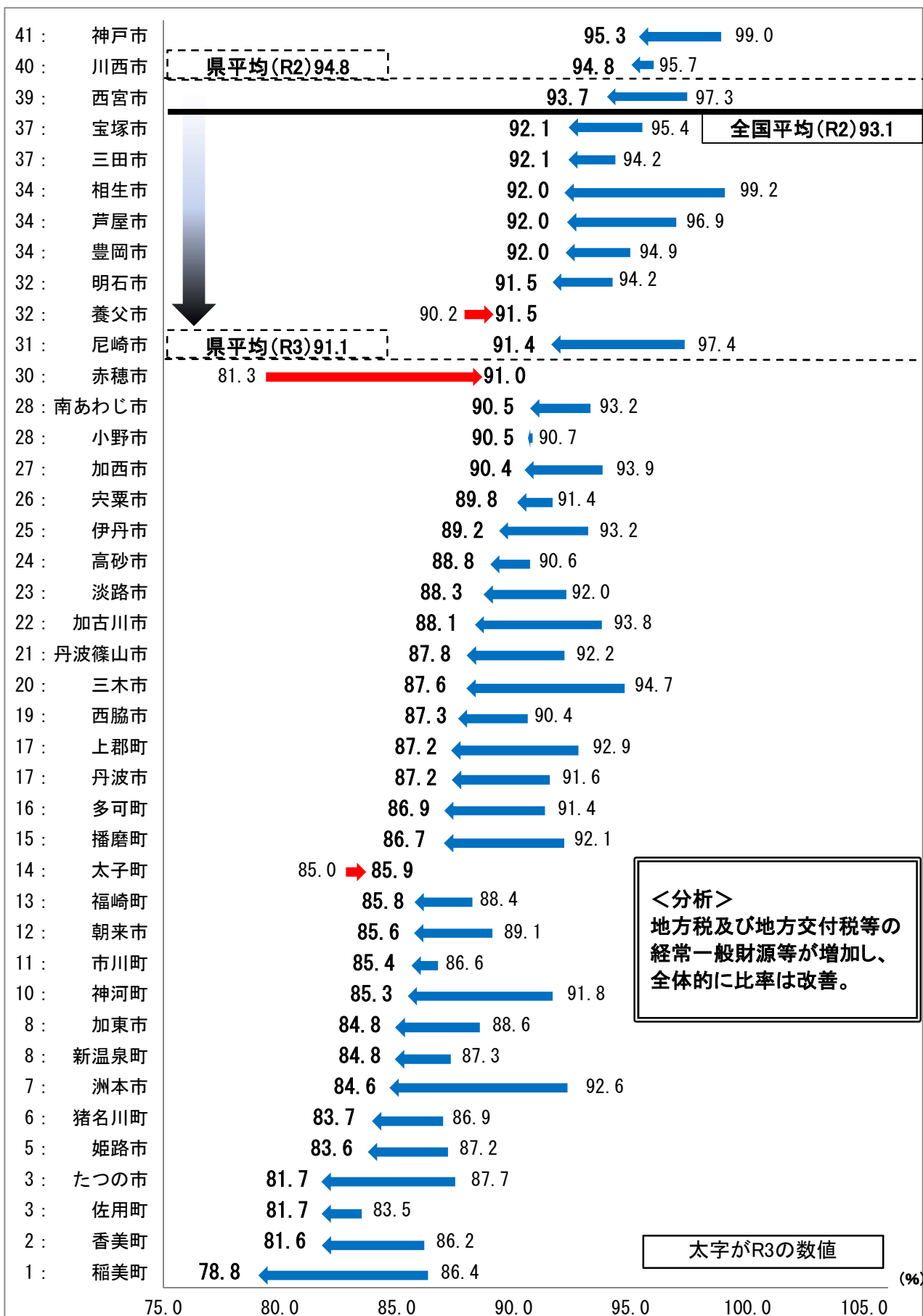
### 令和3年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況

- 令和3年度の経常収支比率の県内市町平均は91.1%(R2全国平均は93.1%)
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では神戸市(95.3%)、町では上郡町(87.2%)
- 経常収支比率が最も低い団体は、市ではたつの市(81.7%)、町では稲美町(78.8%)



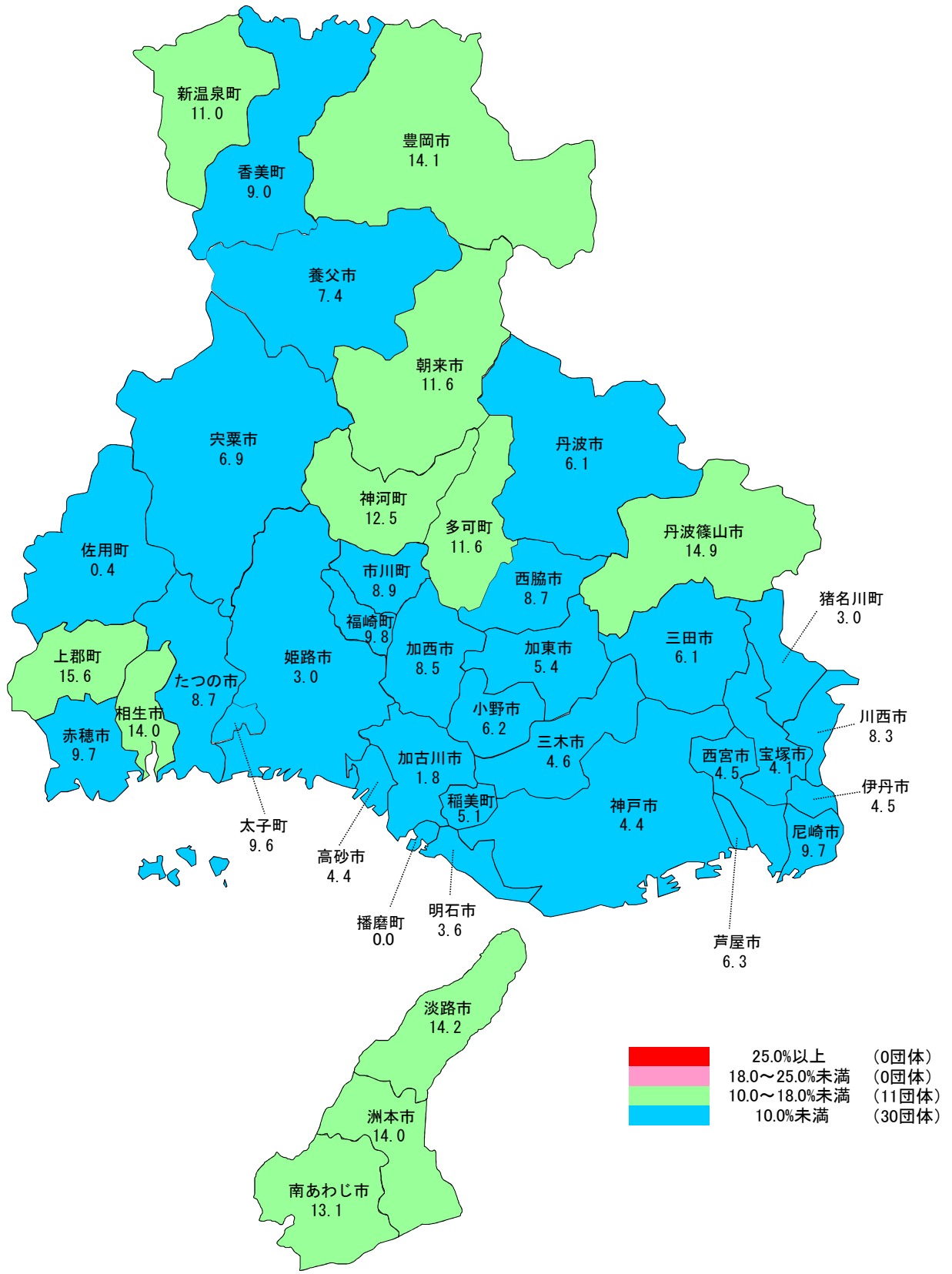
経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは3団体、比率が減少したのは38団体。  
 ■最も増加したのは赤穂市(+9.7)、最も減少したのは洲本市(▲8.0)。



### 令和3年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

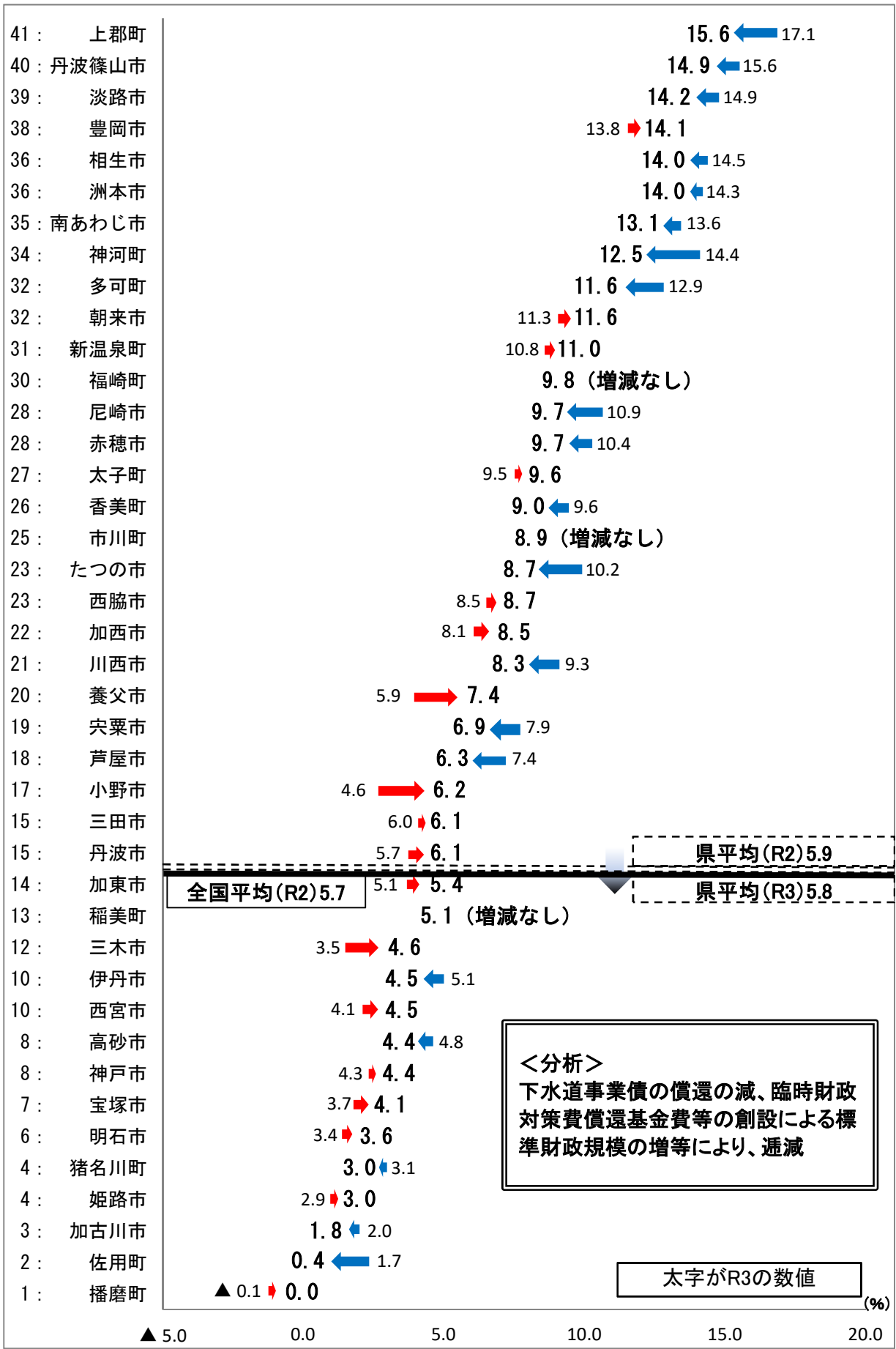
○令和3年度の実質公債費比率の県内市町平均は5.8% (R2全国平均は5.7%)  
 ○実質公債費比率が25%以上<sup>※1</sup>の団体、18%以上<sup>※2</sup>の団体はなく、  
 県内全41市町が18%未満<sup>※3</sup>となった。



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。  
 ※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債が許可される。  
 ※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

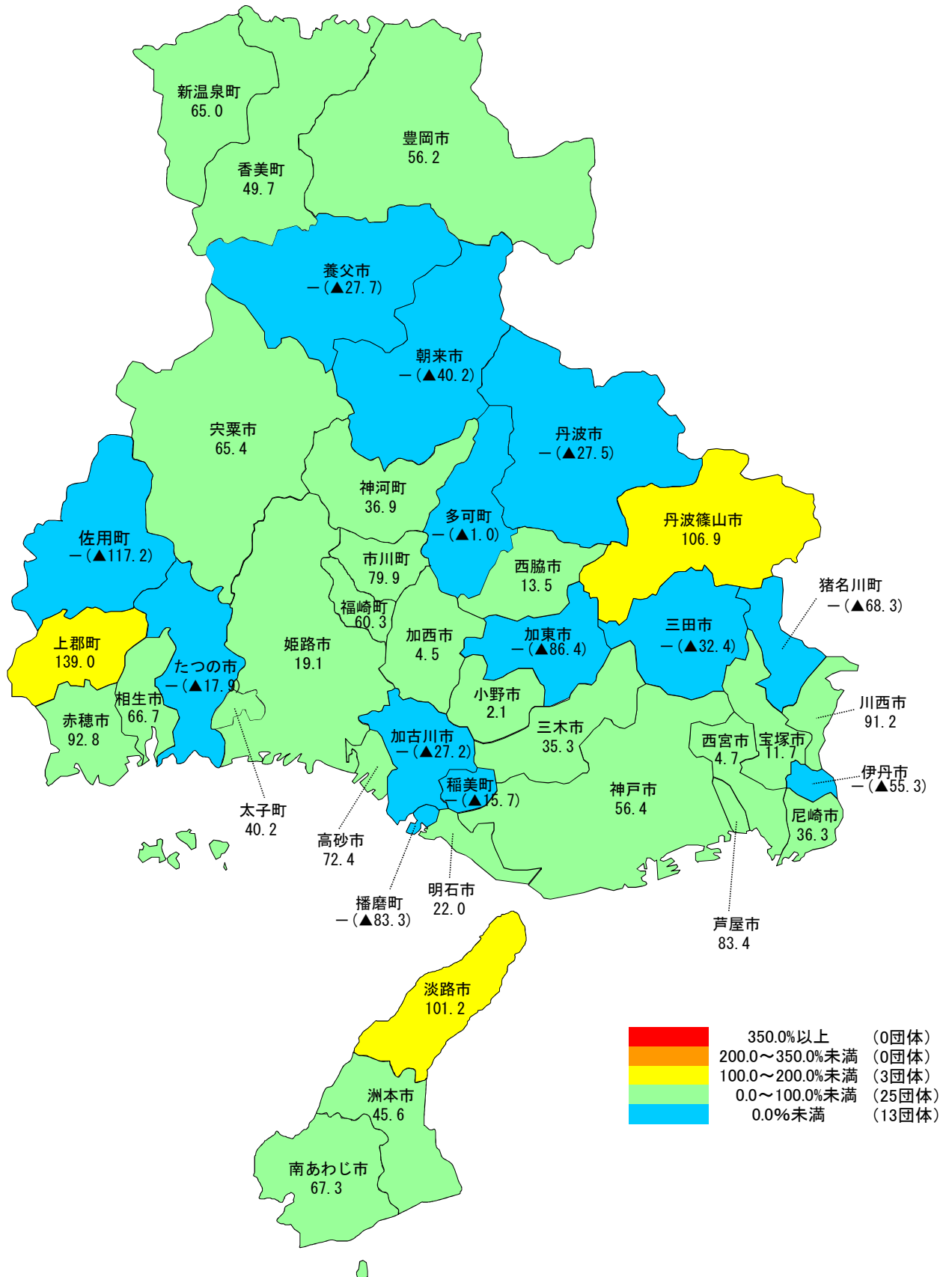
実質公債費比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは18団体、比率が減少したのは20団体、3団体が増減なし。  
 ■最も増加したのは小野市(+1.6)、最も減少したのは神河町(▲1.9)、



### 令和3年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

○令和3年度の将来負担比率の県内市町平均は30.7% (R2全国平均は24.9%)  
 ○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)<sup>※1</sup>の団体はない。

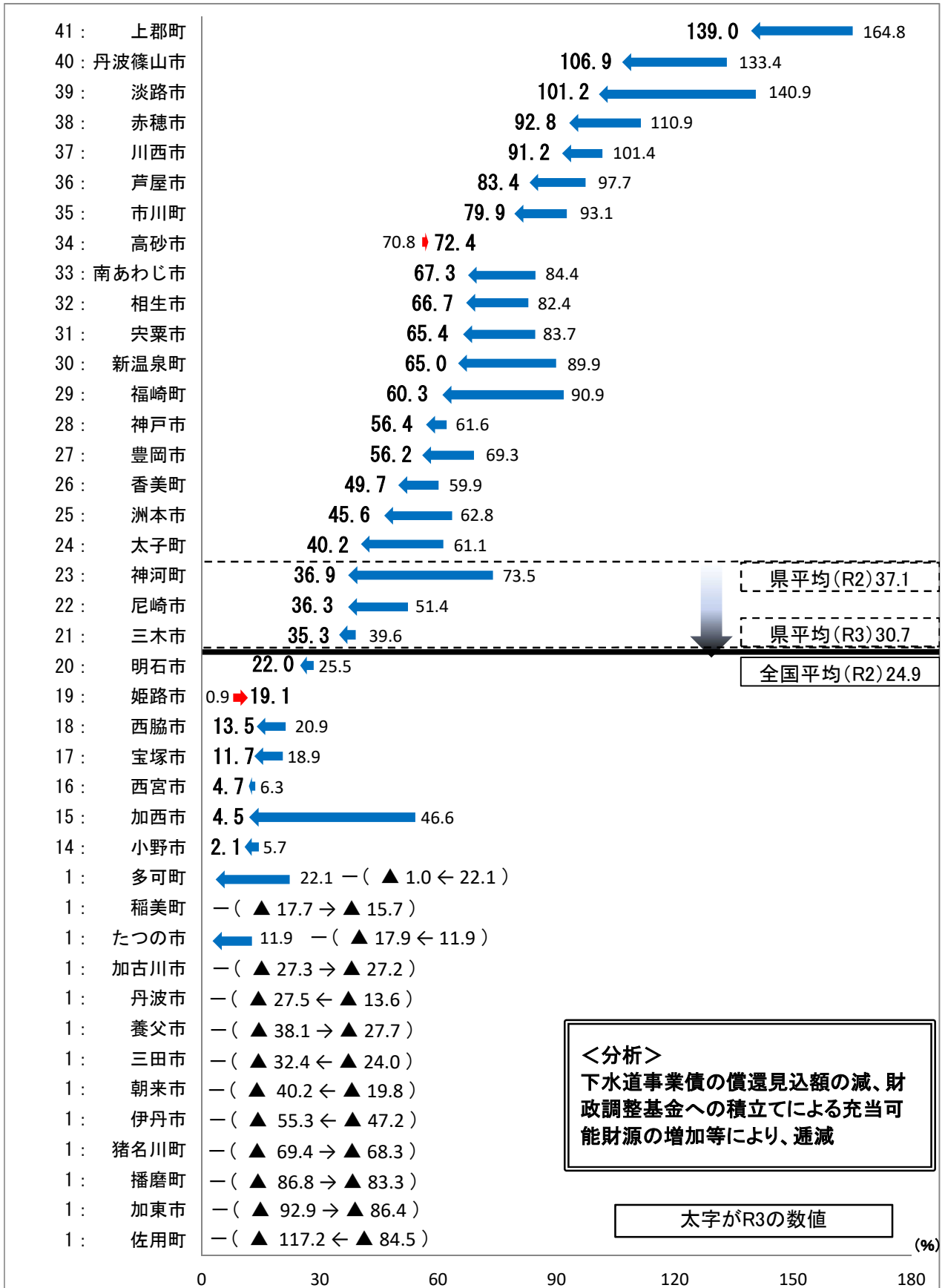


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。  
 ※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

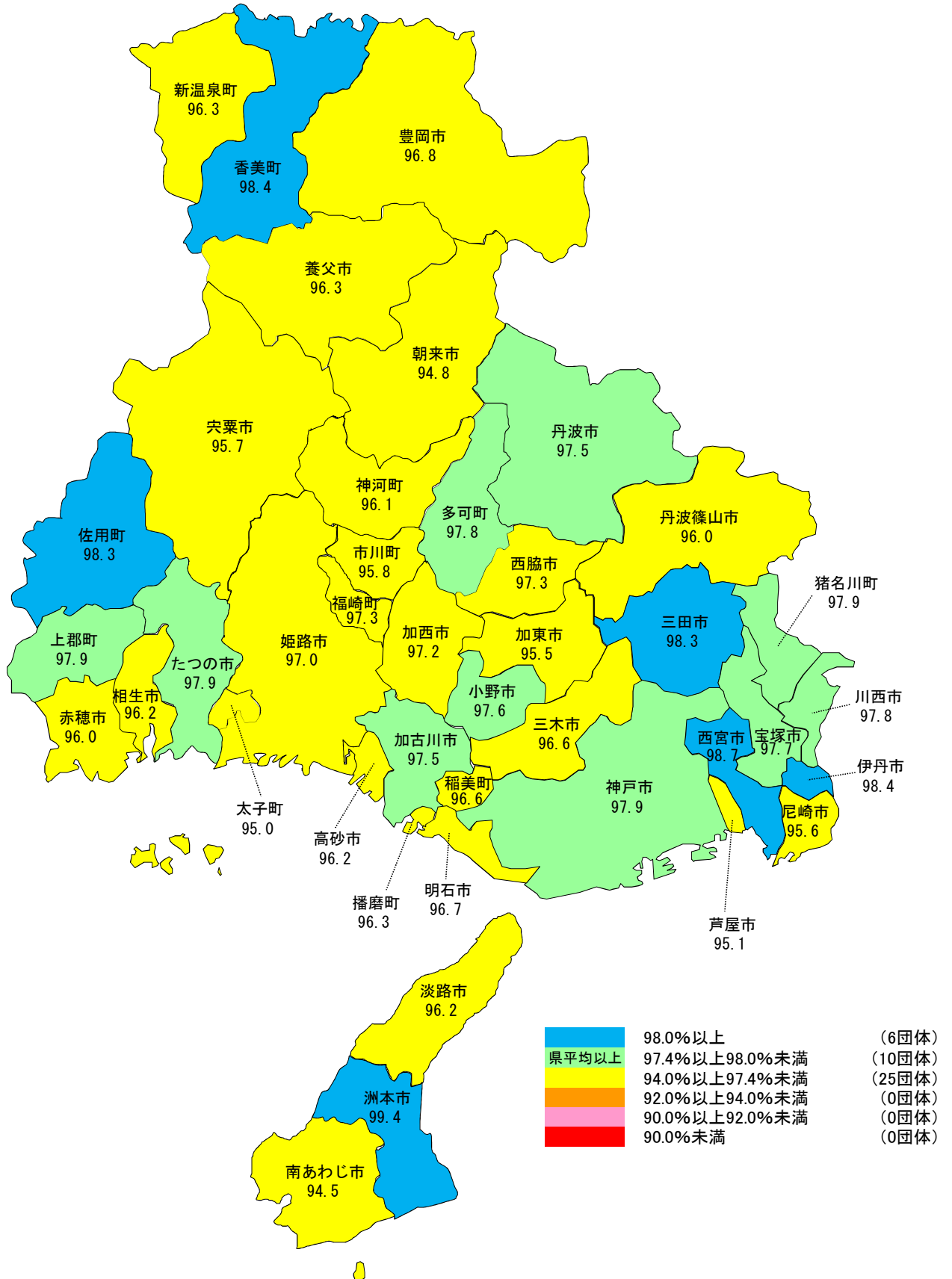
【資料6】

■前年度から比率が増加したのは8団体、比率が減少したのは33団体。  
 ■最も増加したのは姫路市(+18.2)、最も減少したのは加西市(▲42.1)。



### 令和3年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

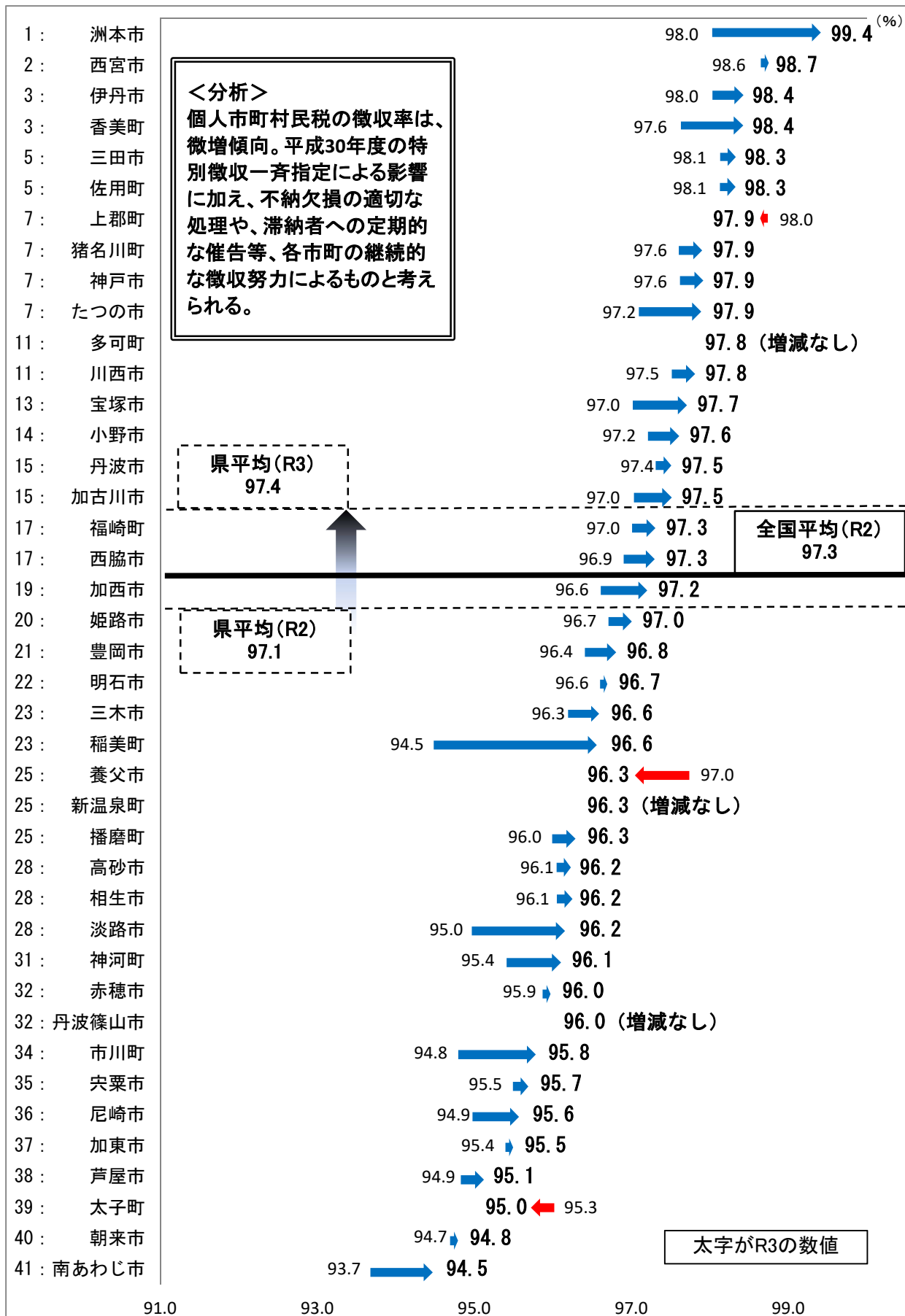
- 徴収率の県平均は97.4%(R2県平均97.1%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では洲本市(99.4%)、町では香美町(98.4%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(94.5%)、町では太子町(95.0%)





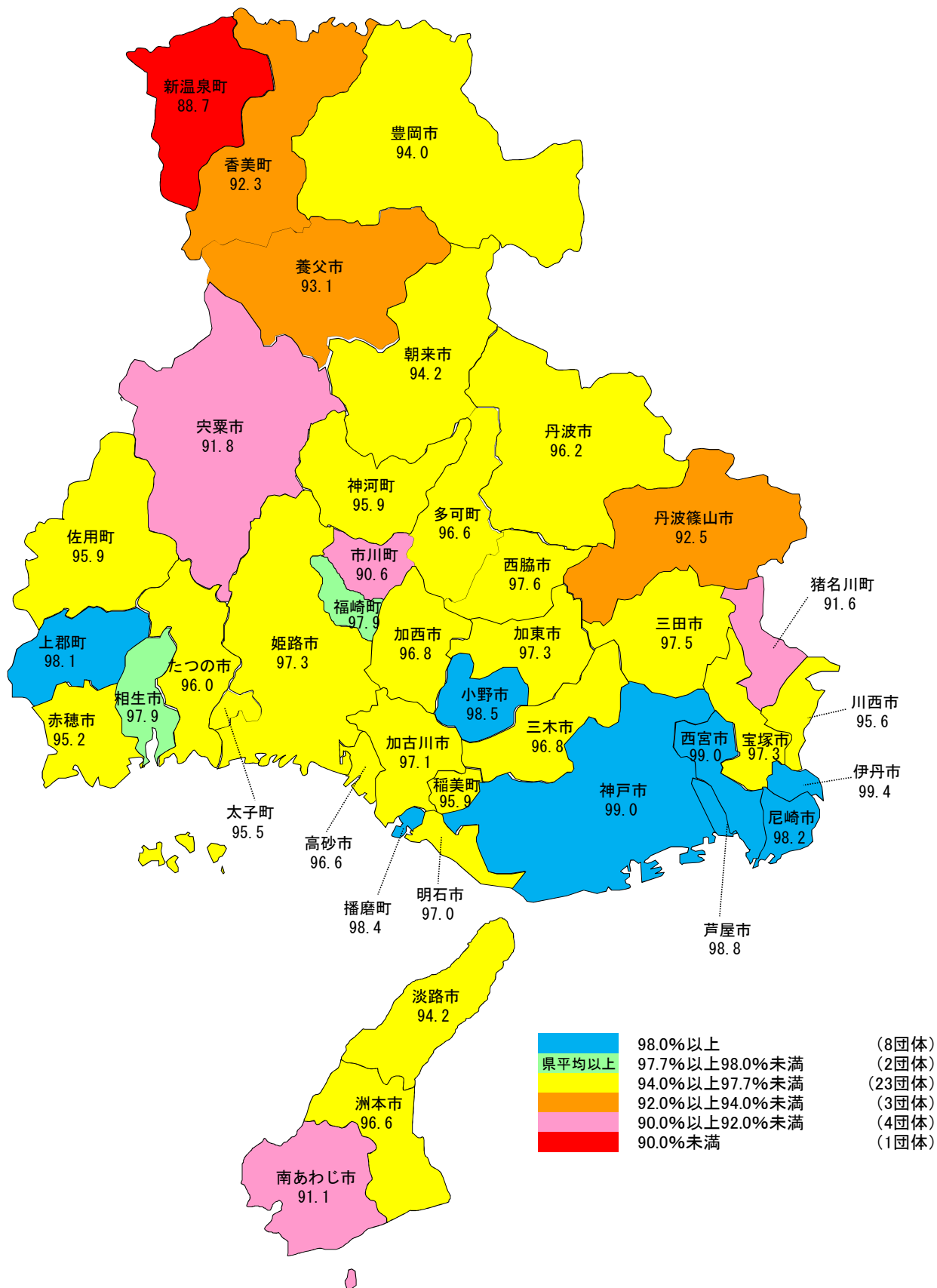
徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは35団体、比率が減少したのは3団体、3団体が増減なし。  
 ■最も増加したのは稲美町(2.1%)、最も減少したのは養父市(▲0.7%)

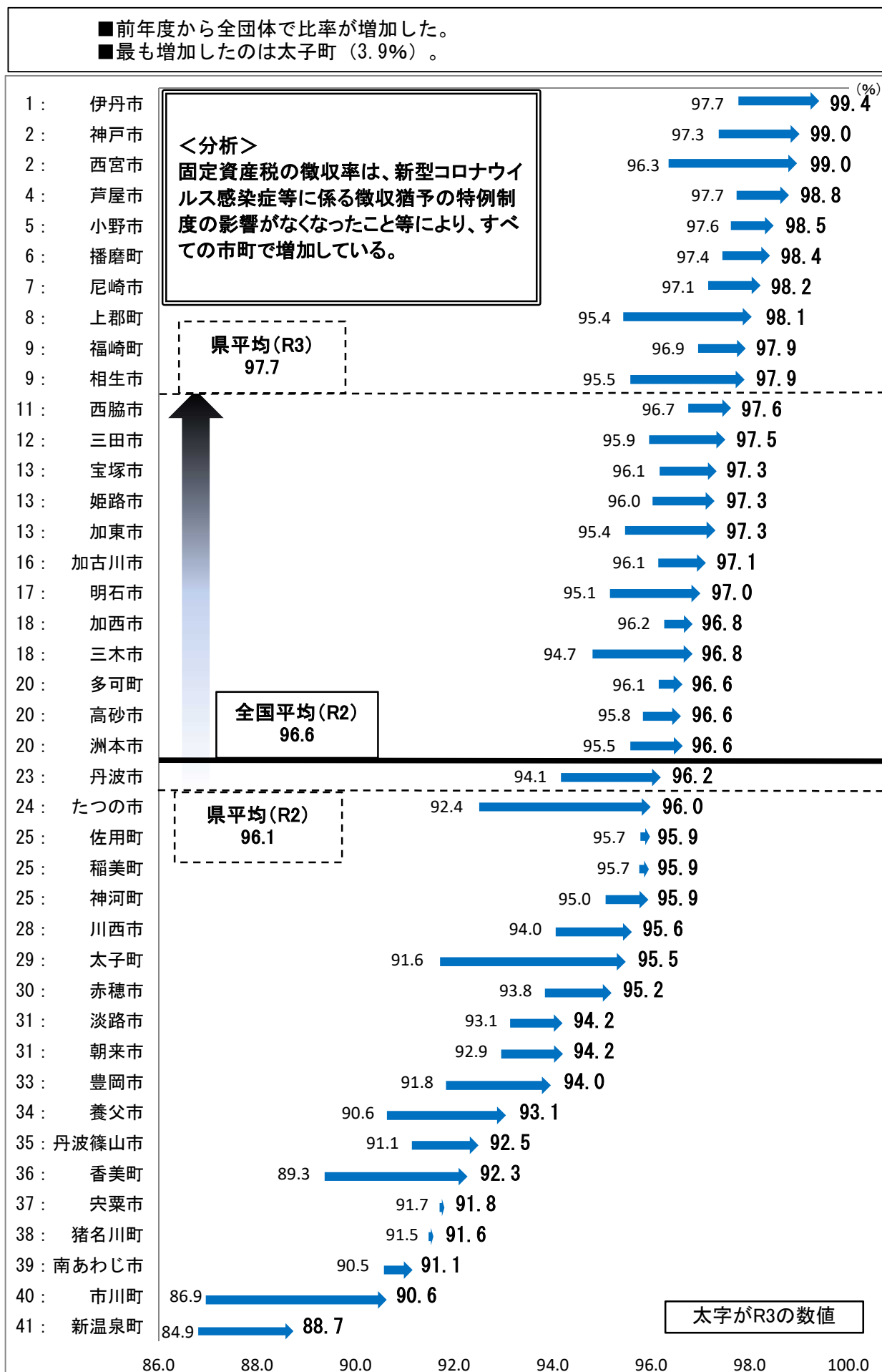


## 令和3年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は97.7%(R2県平均96.1%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.4%)、町では播磨町(98.4%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(91.1%)、町では新温泉町(88.7%)

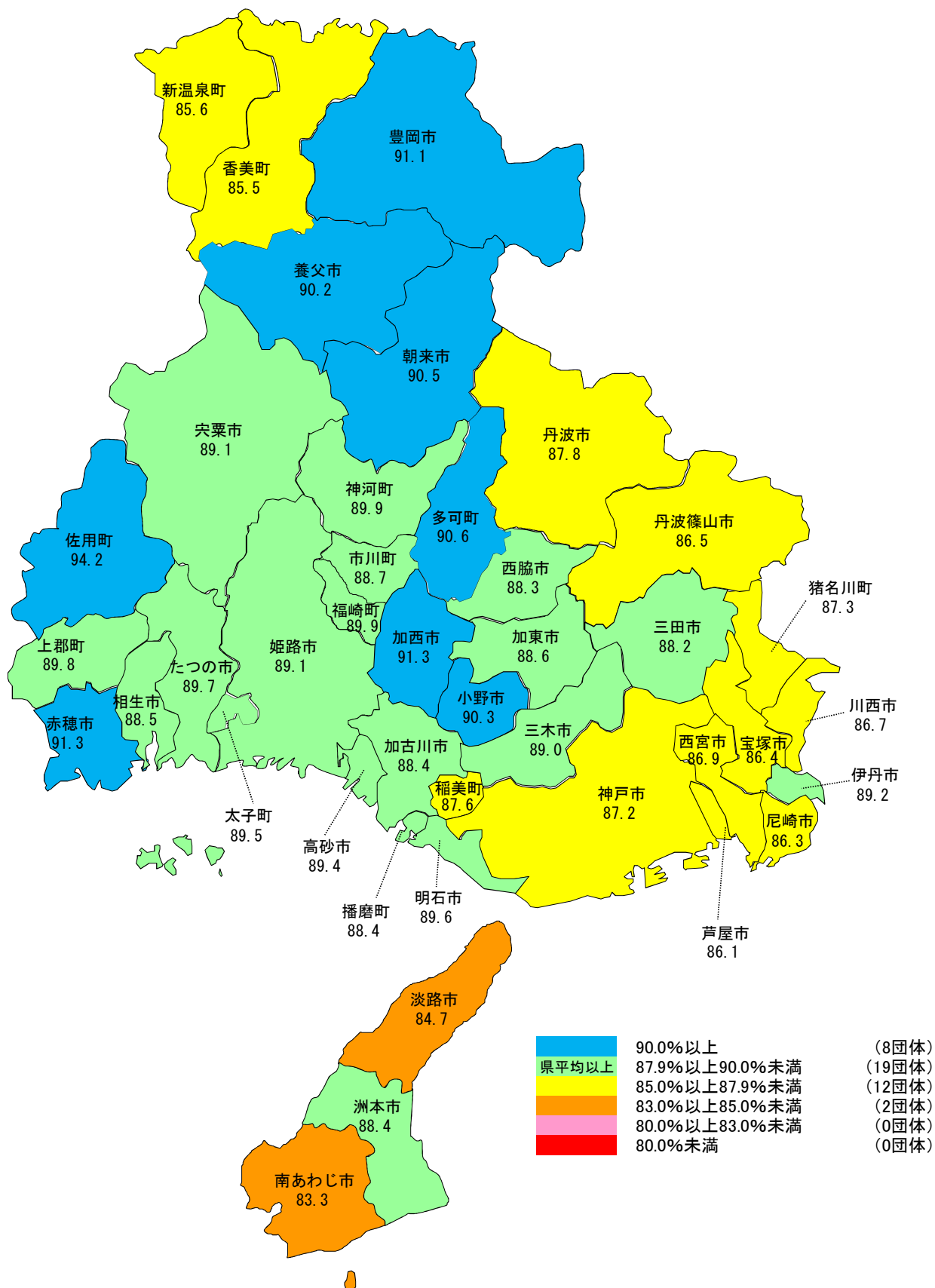


徴収率(固定資産税)の対前年度比較



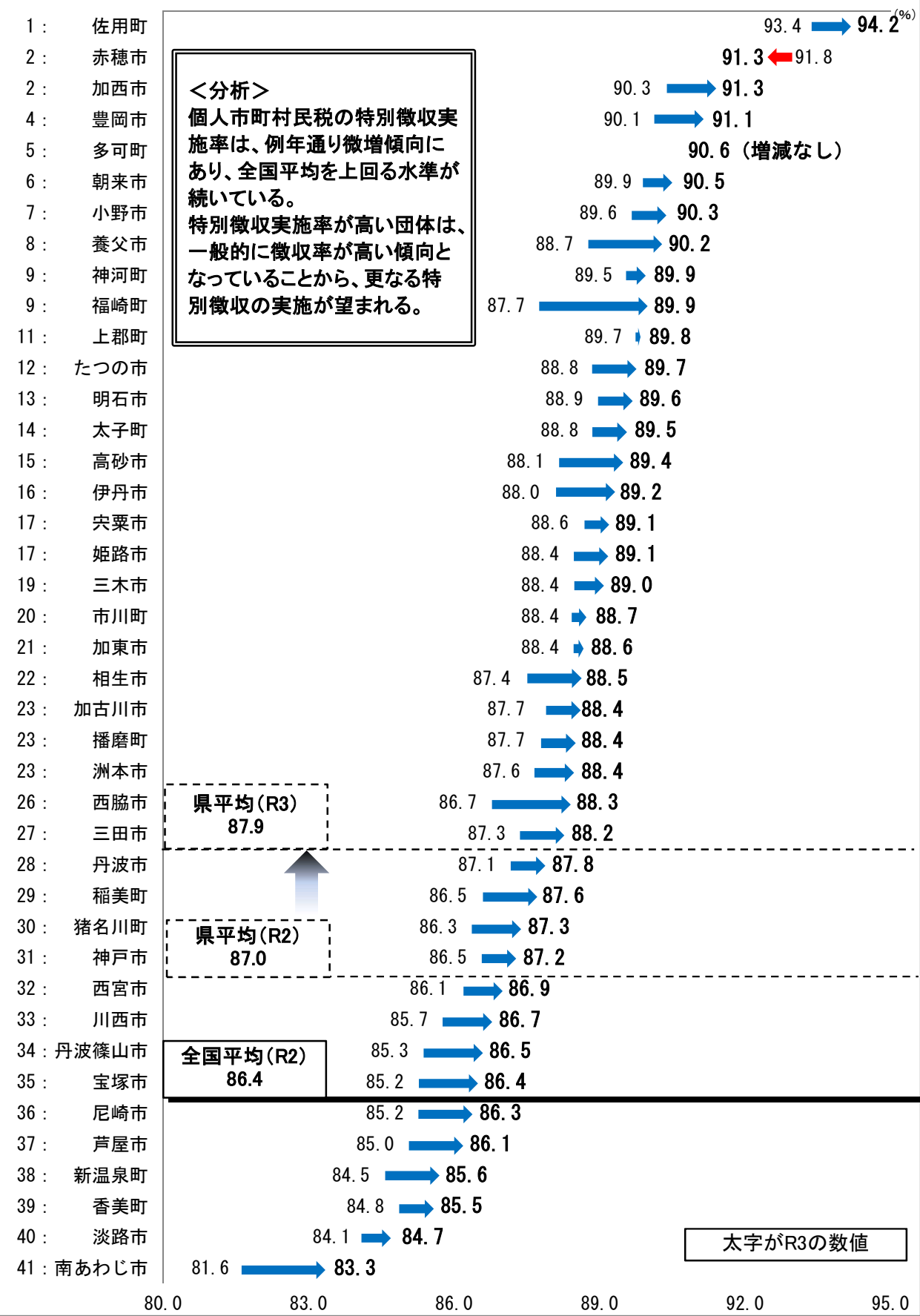
## 令和3年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

- 特別徴収率の県平均は87.9%(R2県平均87.0%)
- 特別徴収率が最も高い団体は、市では赤穂市、加西市(91.3%)、町では佐用町(94.2%)
- 特別徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(83.3%)、町では香美町(85.5%)



特別徴収実施率の対前年度比較

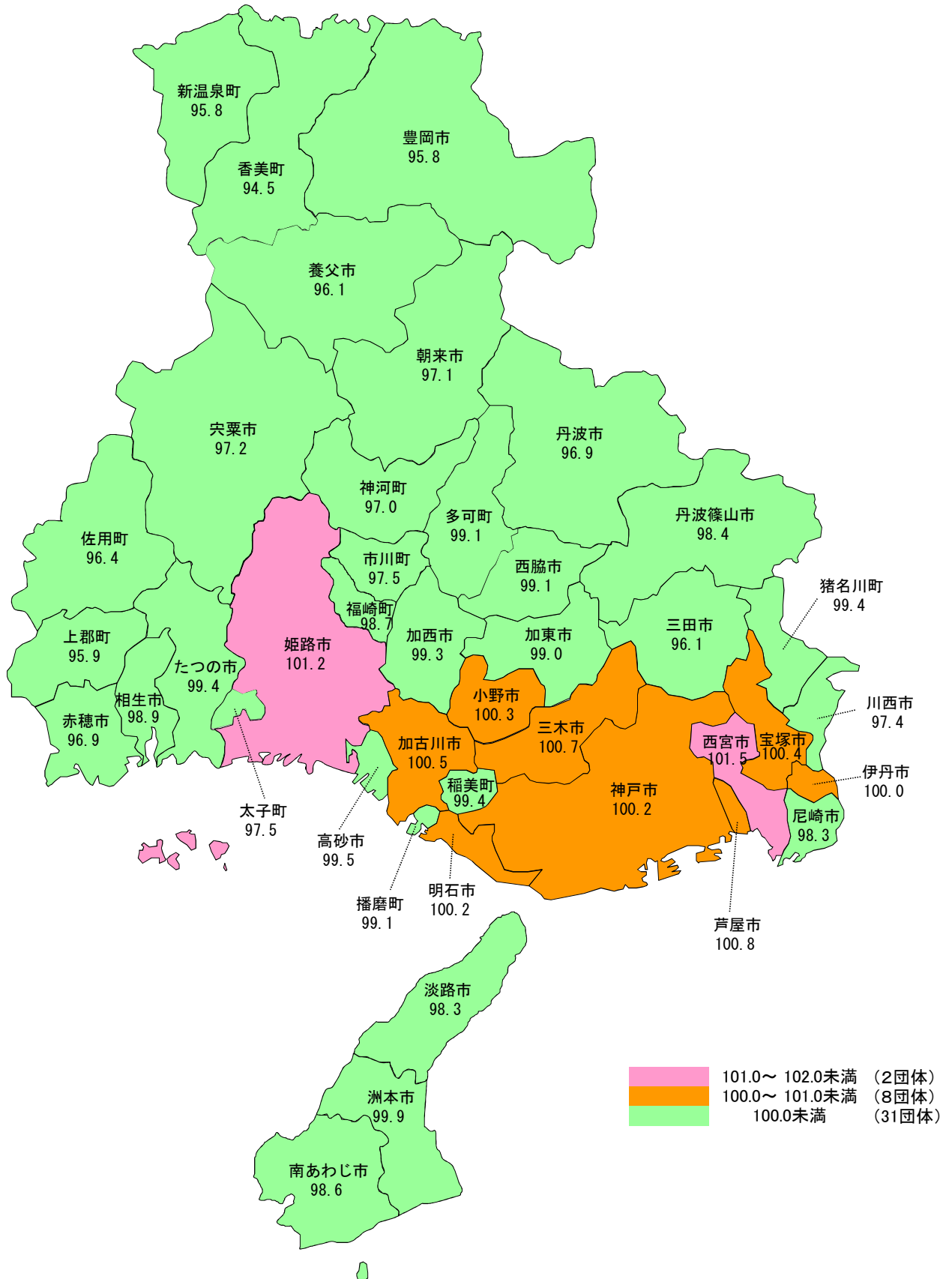
■前年度から比率が増加したのは39団体、比率が減少したのは1団体、1団体が増減なし。  
 ■最も増加したのは福崎町(2.2%)。



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

## 令和3年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(R3.4.1)

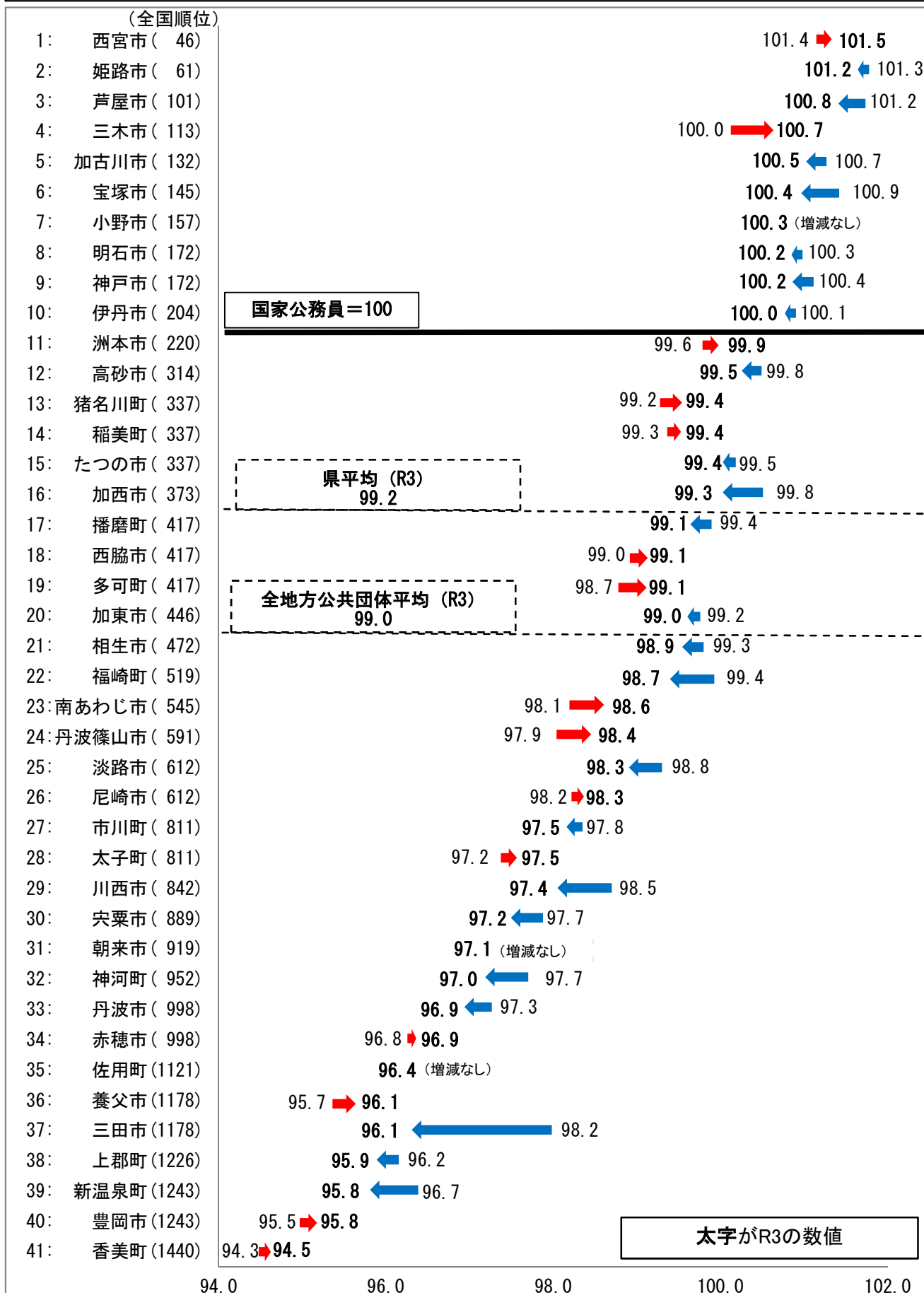
○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、西宮市(101.5)、姫路市(101.2)など10市町。  
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.5)など31市町。



※ ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

### 令和3年ラスパイルス指数の対前年比較

- 前年から指数が減少したのは23団体、増加したのは15団体
- 100以上の団体は、前年同様、10団体
- 最も増加したのは三木市(+0.7)



令和4年9月  
兵庫県総務部 市町振興課作成